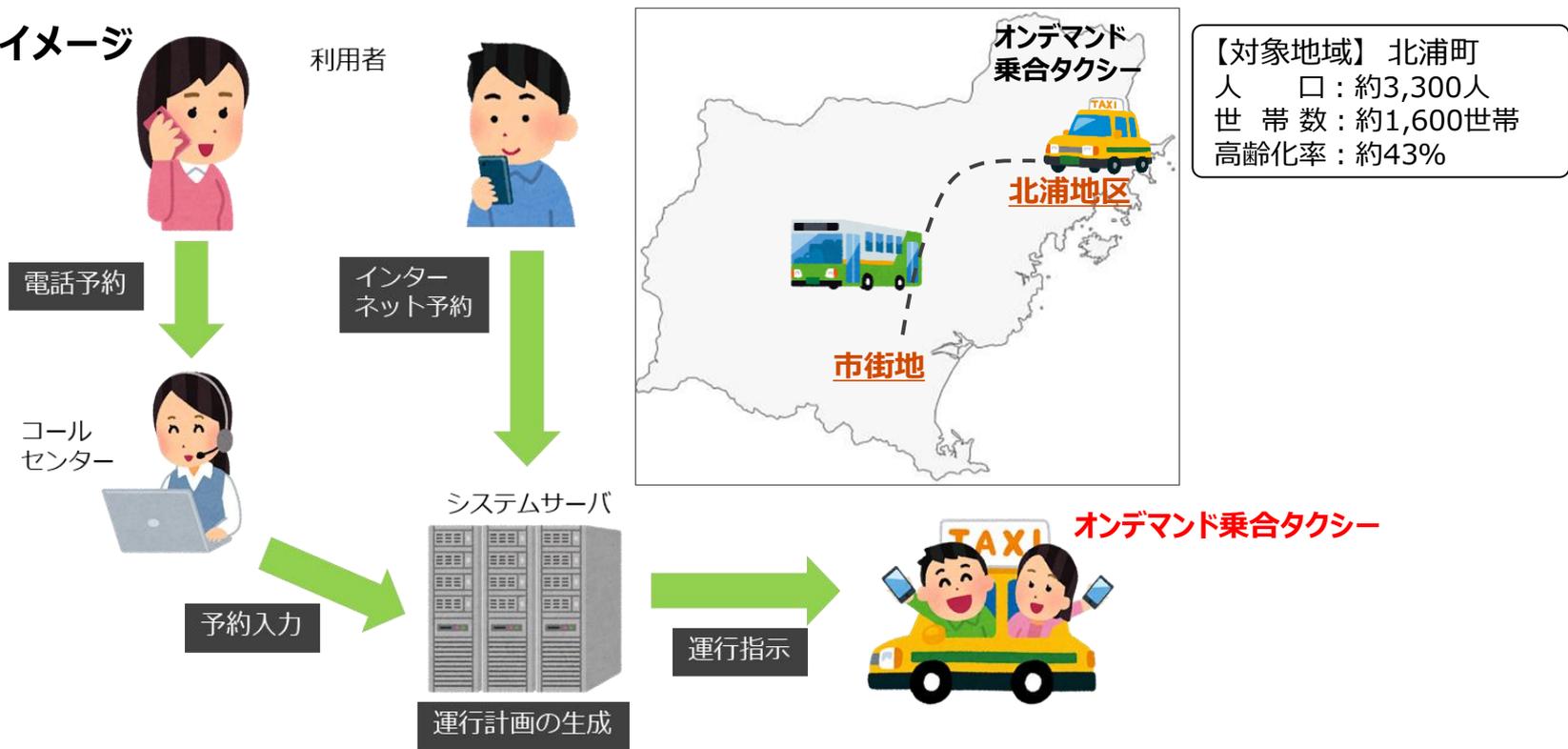


①脱マイカー社会推進のためのオンデマンド交通導入事業

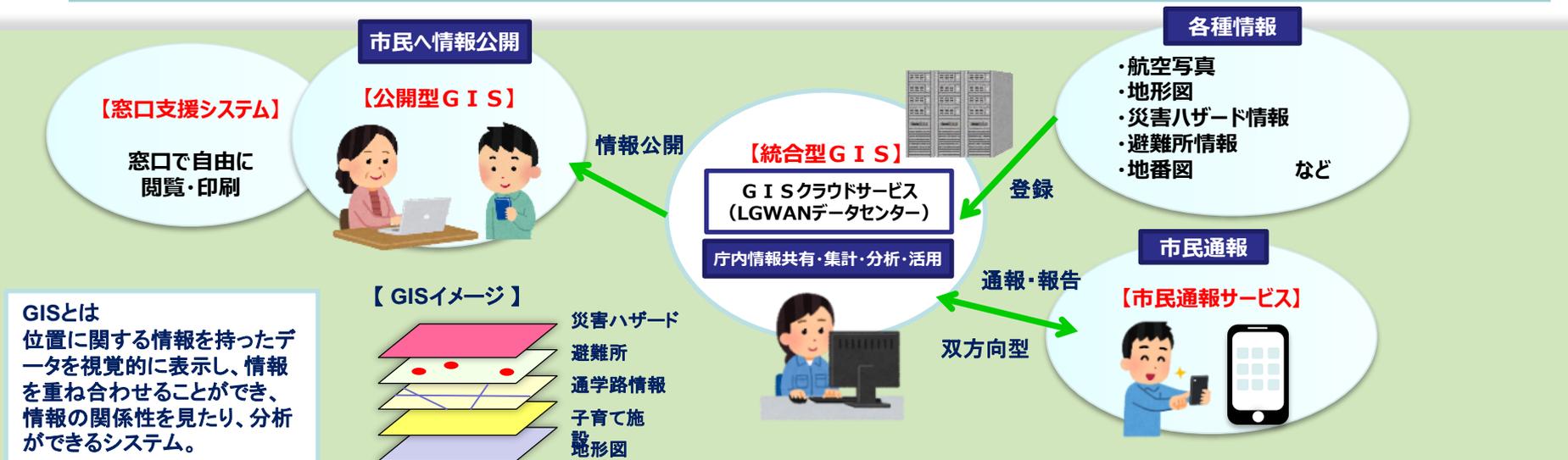
人流データを分析し、利用者に合わせた「オンデマンド乗合タクシー」を導入

- ◇人流データ収集・分析、運行内容の検討
- ◇路線バスとの役割分担・補完関係の検討 ⇒ オンデマンド乗合タクシーの運行
- ◇交通モードのベストミックスの検討

事業イメージ



②安心と温もりの市民参加型GISクラウドサービス構築事業



GISとは
位置に関する情報を持ったデータを視覚的に表示し、情報を重ね合わせることができ、情報の関係性を見たり、分析ができるシステム。

【GISイメージ】

- 災害ハザード
- 避難所
- 通学路情報
- 子育て施設
- 地形図

【公開型GIS】

市内で各部署が保有する、暮らしの情報、防災情報などをデジタル地図上に表示でき、市民へ公開することができる。

- ・地形図、航空写真
- ・公共施設情報
- ・都市計画情報
- ・公園情報
- ・災害ハザード情報
- ・避難所、AEDマップ
- ・子育て施設情報
- ・道路情報 など

- ◆ インターネット経由で利用が可能
- ◆ 住民や事業者が好きな場所からいつでも情報を見ることができ、自由に活用できる。

【統合型GIS】

市内で各部署が保有する、住所や地番、座標などの位置情報を持った様々な地域情報を地図上に表示することができ、市内で共有することができる。

- ・地形図、航空写真
- ・公共施設情報
- ・都市計画情報
- ・学校の通学路
- ・街路灯の情報
- ・福祉に関する情報
- ・道路情報 など

- ◆ LGWAN-ASP経由で利用が可能
- ◆ 職員がデータを自由に取り込んだり、資料をファイリングすることができる。
- ◆ 特定のエリアを指定した、情報検索やデータ集計ができる。

【市民通報サービス】

市民が市に直接レポートできるサービスを提供できる。

- ◆ 市民は対応状況を確認することができる。
- ◆ 統合型GISにデータが蓄積され分析することもできる。

【窓口支援システム】

公開型GISを市役所を訪れた方が自由に利用できる。

- ◆ インターネット環境が身近にない方でも、市役所で利用が可能。

③誰一人取り残さないポータルアプリ構築事業

市公式アプリ等の登録情報やログイン機能を一元化する「ポータルアプリ」を構築

- ◇市の公式アプリやWEBサービスの情報・機能などを一元化する「ポータルアプリ」を構築
- ◇既存公式アプリの改修・機能追加
- ◇デジタルデバイト対策の実施
- ◇地域内経済の活性化

事業イメージ

市公式アプリ



連携アプリ



ポータルアプリ



WEBサービス



市HP・ポータルサイト



④ データ連携基盤と次世代モビリティを活用した“救急”as a Service【QaaS】

～空飛ぶクルマも見据えた新たな救急搬送体制づくり～

延岡・県北の課題

◆ 救急現場への到着時間や救急先病院への搬送時間の短縮化が課題。

◆ 延岡市を含む県北地域はドクターヘリの「片道15分圏」の外。(助からないケースが多い)

今回のプロジェクトで装備するシステム

1. 個人の健康データを入力するアプリ 【個人が使用するアプリ/スマホにアプリをダウンロード】

個人が日々の健康記録や診療情報などを入力し管理するアプリの実装

2. 救急搬送時のトリアージ(治療優先順位)を最適化するシステム 【救急車等で使用するシステム/タブレット端末】

救急搬送時の最適なトリアージのためのシステムの実装

① 脳卒中や心疾患の発症可能性や重症度などを判定するシステムの実装

② 除細動器(12誘導心電図電送機能等)からのバイタルデータを病院等に送るシステムの実装

③ **1のアプリ**と連携し、患者の健康データを取得し、危険度を判断するシステムの実装

3. 救急搬送時の医療情報を病院と共有するシステム 【救急車・搬送先病院等で使用するシステム/タブレット端末】

2のシステムと連携し、救急搬送時に救急車、搬送先病院、消防指令センター等の間で、患者の症状に関する画像も含めた情報を共有し

初動対応に活かすシステムの実装

※ 上記1～3を救急隊員や搬送先病院で活用

+ プラス

4. 救急搬送の最適な運行管理を行うシステム (「空飛ぶクルマ」を「空飛ぶ救急車」的に活用)

空飛ぶクルマの実装も見据え、救急モビリティ(救急車・ドクターカー)の選定・運行管理・搬送経路の設定を支援するシステムの実装

空飛ぶクルマの実装も見据え、救急車・ドクターカー等とのランデブーポイントや離着陸場所の選定等を行うシステムの構築。

目指す姿

搬送時間の短縮・迅速な受入・スピーディーかつ適切な医療処置により、
市民の救命率を向上させ、**助かる命を大幅に増やす!**

システム分析⇒最適なトリアージの実施

④データ連携基盤と次世代モビリティを活用した“救急”サービス事業



アプリから診療情報等の取得
AEDからバイタルデータ取得

傷病者の状態情報等を共有

医療情報の共有
適切な医療処置



健康・診療データの
入力管理

救急車・ドクターカー

迅速・的確な医療処置

搬送時間短縮

最適な搬送経路



搬送先病院

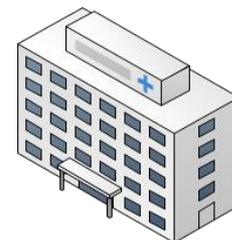


ドクターヘリ

または



空飛ぶクルマ



大学病院等

救急搬送の運行管理
(救急車・ドクターカー・ドクターヘリ
・空飛ぶクルマの最適な選択)

⑤のべおかポータルと新マイキープラットフォームを活用した「行かない市役所」構築事業

【事業名】

のべおかポータルと新マイキープラットフォームを活用した「行かない市役所」構築事業

マイナンバーカード利用
横展開事例創出型
【TYPE X】

【事業概要】

地域課題の解決や魅力向上等の地方創生につながる本市独自の各種施策の推進に合わせ、市民カード化構想における新マイキープラットフォームを活用し、本市が令和4年度にデジタル田園都市国家構想TYPE1及びTYPE2で実装した、住民向けフロントサービスである「のべおかポータル」とデータ連携の要となる「データ連携基盤」を連携し、行政手続の一气通貫したデジタル対応による「行かない市役所」（①オンライン申請とデジタルチケット（子ども医療費受給資格証）の発行、②オンライン面談・相談、③図書館システムの構築）を実現させ、住民サービスの向上及び行政事務の効率化を図る。



⑥平時・災害時共通 住民・関係人口との相互コミュニケーションによるWell-beingの実現

【事業名】

平時・災害時共通 住民・関係人口との相互コミュニケーションによるwell-beingの実現

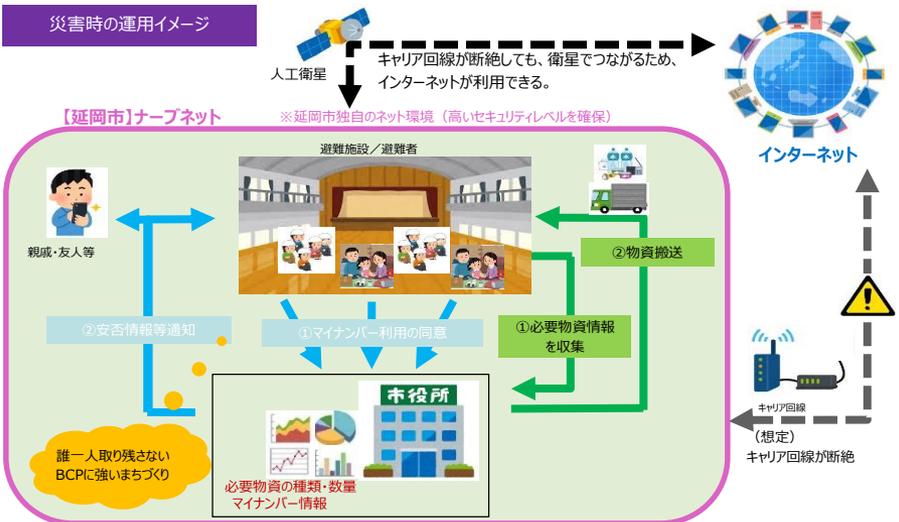
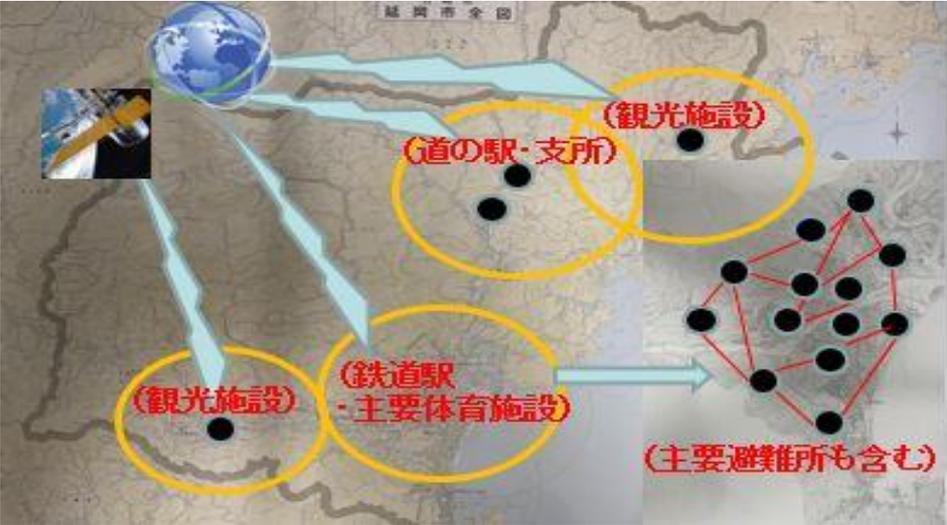
**優良モデル導入支援型
【TYPE 1】**

【事業概要】

自治体情報掲示板利用者、システム内のWi-Fi環境利用者、市公式サイト利用者の個人情報保護に関する同意管理を実施し、通常の方法では、行政が知り得ない個人の情報をシステム内で入手し、平時の関係人口の情報把握や観光客や市民のニーズ把握、市公式サイトへのアクセス状況分析などにより、個別最適化された情報提供を可能とするとともに、地域通貨と組み合わせて市内消費の拡大を図る。

また災害時においても、自前のネットワークを構築することで、ネットワーク内でのインターネットを含む通信が可能とすることにより、外部サーバー故障によるネットワークダウンや携帯電話回線の規制時においても、必要な情報を伝達することが可能とするとともに、さらにセキュアな通信環境で情報を伝達できるので個々人の支援や生活必需品の確保も可能とする。

こうした平時と災害時の両方に対応したまちづくりを展開することにより、人口減少等に歯止めをかけ、地方創生の推進を図る。



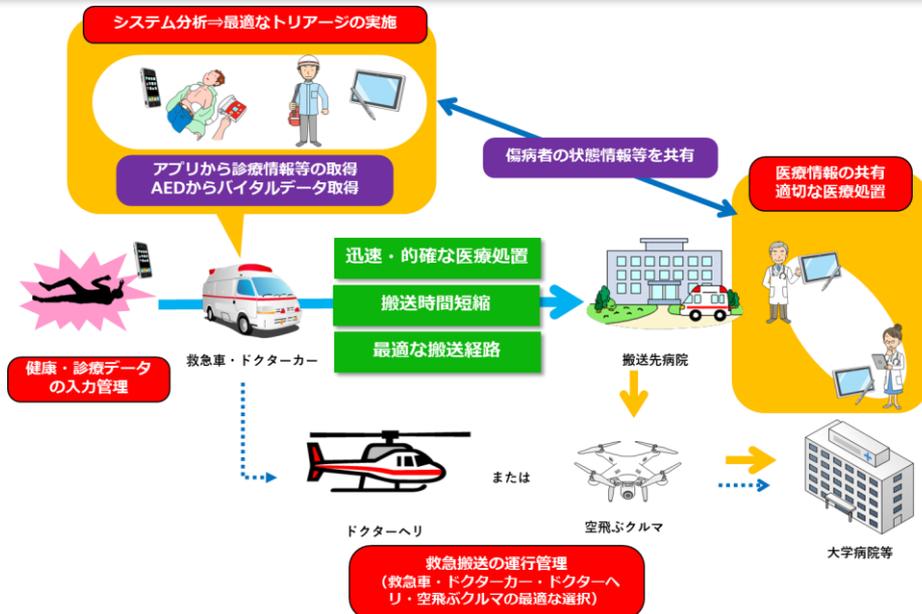
⑦「新技術で命を守る」スマートシティ推進事業

【事業名】
「新技術で命を守る」スマートシティ推進事業

Society5.0型

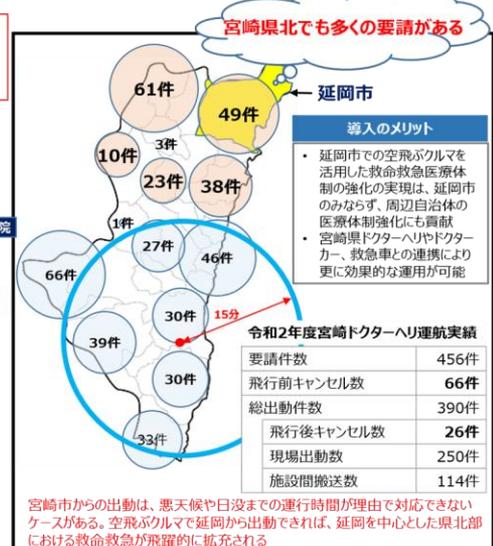
【事業概要】

専門家や医療・防災関係者と連携し、実際に「空飛ぶクルマ」の試験飛行を行うとともに、各種シミュレーション等の実施などにより「空飛ぶクルマ」の実装を実現する。それと並行して、「一人でも多くの命を救う」ために、新たな救急搬送システムの高度化を進める。



延岡市の救命救急医療への対応力強化 ～空飛ぶクルマサービスの導入が急務～

参考
出動要請から15分以内に医師による治療開始を目標とするドクターヘリの運用(「15分ルール」)において、延岡市及び宮崎県北部地域は、宮崎市の基地病院から15分圏内に含まれておらず、救命救急医療の対応力強化が課題



⑧「自然といのちを大切にできる地域づくり」による移住・交流人口増促進事業

【事業名】

「自然といのちを大切にできる地域づくり」による移住・交流人口増促進事業

横展開型

【事業概要】

人口減少の顕著な中山間地域等において、農林業の振興を図るため、狩猟免許取得者を増やすのみならず、デジタル技術を活用して、有害鳥獣が人里に近づかないような仕組みを整備し、地域産業の好循環を生み出すとともに、自然や動物と人間の営みの調和に着目した「里山塾」による人材育成にも取り組み、このような自然といのちを大切にできる地域づくりに共感するペット愛好家等の移住や交流人口の増加を図っていく。

また、農業経験のない人でも農業に取り組めるよう、最新の技術を活用したロボットによる稲作支援等に取り組み、新規就農者の確保や移住促進を図り、総合的に地方創生を進める。

